

滋賀県議会議員

村 上 げ ん よ う

県政レポート 新春号 [第14号] 令和5年1月 発行



村上げんよう事務所 〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口5595番地1 ボヌールビル4階 Tel:0748-70-3833 Fax:0748-70-3653

謹賀新年

本年が皆様にとって明るく実りある一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。 滋賀県議会議員
本年も一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



活動報告

～魅力ある地域づくり“心”と“身体”の『健康しが』を!!～



第1回「ピワイチの日」11月3日



行財政・新型コロナウイルス感染症等危機管理対策特別委員会 県外行政調査
美浜原子力PRセンター 他 視察



甲賀市パラスポーツ協会
卓球教室・交流大会



厚生・産業常任委員会 県外行政調査

村上げんようの日々の政治活動はFacebookに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

11月定例会議 代表質問

自由民主党滋賀県議会議員団(令和4年12月2日)

質問7.「県立病院の経営強化について」 質問8.「共生社会に向けた取組の推進について」 2項目の原稿を担当しました。



11月定例会議 一般質問

(令和4年12月9日)

第1問 令和7年度滋賀国スポ大会総合優勝を目指して

Q 国スポで開催県として総合優勝することを目指す意義について伺う。

A 文化スポーツ部長 「わたSHIGA輝く国スポ」につきましては、県内各地の身近な競技会場におきまして、レベルの高い競技を直接体験できるというまたとない機会であります。

その舞台におきまして、本県の代表選手が県民の皆さんの応援のもとで活躍して、好成績をあげていただくという姿は、東京オリンピックやサッカーのワールドカップにおける日本代表の活躍する姿と同じように、県民の皆さんに大きな感動や元気を与えていただけるものと考えております。

そのためには、総合優勝という高い目標を掲げまして、競技に打ち込む選手たちを県民一体となってサポートして、その達

成を目指すことは、大いに意義があると考えております。

Q 総合優勝に向けた知事の本気度、決意、意気込みを伺う。

A 知事 私自身、今年の栃木国体、久しぶりの大会でしたので、現地に視察また激励に赴きまして、国体の熱気、地元の皆さんの栃木県選手団に対する勝利への期待ですとか熱い声援などを肌で感じることができました。

「わたSHIGA輝く国スポ」における総合優勝、これは私も強い決意で目指していきたいというふうに思っております。そのために様々な課題があることも今日のご指摘をいただきました。滋賀県選手団の強化に、これは機運醸成とともに、公だけではなくて民間も含めてみんなで取り組むということが大事です。そういったことを改めて決意しながら、同時に、この競技

力向上の成果、総合優勝の結果というものを将来の滋賀の、その過程の、その前もそうですけれども、将来の滋賀のスポーツ振興や「健康しが」の実現につなげていきたいと考えております。



令和4年11月定例会議 一般質問



第22回全国障害者スポーツ大会
出場選手壮行会

第2問 がん検診について

Q 県におけるがん検診の受診の状況について伺う。

A 知事 令和元年度の国民生活基礎調査による本県の受診率は、胃がんが41.8%、肺がんが48.8%、大腸がんが44.9%、乳がんが48.0%、子宮頸がんが44.3%となっております。

Q 職域でのがん検診の精度管理について伺う。

A 知事 職域での受診は、法的根拠がなく、保険者による保健事業や事業主が福利厚生の一環として任意で実施されておりますため、実施されている割合やがん検診の種類、受診者数等を継続的に把握する仕組みがございません。県としては、国の検診状況にかかる情報収集に努めてまいります。

Q がん検診の効果について伺う。

A 知事 令和元年の全国がん登録統計によりますと、県内では、がん検診でがんが発見できた人のうち、約8割弱の人が、リンパ節や他臓器への転移がないという結果でございました。男女別に見ますと、男性では全国で3番目、女性では5番目に低く、がん検診による早期発見や早期治療による効果も現れているものと考えております。

Q (コロナ禍で)減少した受診者数を戻すための取組について伺う。

A 知事 市町では、個別の受診勧奨や再勧奨に加え、検診日程を分散させたり、事前予約制とするなど、感染予防対策をとりながら実施されております。

県といたしましても、市町が実施する特定健診とがん検診とを同時に受けることができるように、ホームページで検診機関と日程を情報提供したり、10月の「受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」にあわせ、しらがメールやLINE等を用いて検診受診の呼びかけを行っているところでございます。

Q 前立腺がん検診について、今の滋賀県の現状についてどう感じ、取り組みについての意見を伺う。

A 知事 がん検診事業が目指すところは、がん死亡の減少であると理解をしております。本県では、市町による前立腺がん検診が実施されておきませんが、5年相対生存率は全国と同じく約9割を超えており、罹患率・死亡率は全国より低い状況でございします。

また、国のガイドラインでは、前立腺がん検診は、国が進める

対策型検診としては「推奨しない」とされており、本県では、この方針に基づき今後も対応していきたいと考えております。

再質問 前立腺がん検診について、広く県民に受診するよう啓発していただきたいが、いかがか。

A 知事 事実で言えば、以前に甲賀市や草津市で前立腺がん検診を実施されていたそうでございます。ところが受診者数が少ないので、現在は実施されていないということだそうでございます。

現在、県のホームページ「がん情報しが」におきまして、前立腺がんの罹患状況など、国が検診を推奨していないがんに関する情報や任意型検診についての解説なども掲載しているところでございます。

引き続き、がんに関する様々な情報について、幅広く、また分かりやすく、県民の皆様にお届けできるよう努めてまいりたいと存じます。

詳しい内容については、滋賀県のホームページをご参照ください。

村上げんよう事務所

〒528-0005
滋賀県甲賀市水口町水口5595番地1 ボヌールビル4階
TEL: 0748-70-3833 FAX: 0748-70-3653

E-mail: genyo@ac-koka.jp
村上げんようホームページ: <https://murakamigenyo.net/>
村上げんようFacebook: facebook.com/murakamigenyo/



ホームページ

何かご意見
ご要望等あれば
ご連絡ください



あなたの^声を県政に！いのちとくらしを守ります



LIBERAL & DEMOCRATIC
自由民主党

滋賀県議会議員団

県議会レター

ごあいさつ

あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2023年(令和5年)も、より一層、議会の機能を発揮し会派一丸となって県政推進に努めてまいりますので、格別のご支援を賜りますようお願いいたします。

今年は「うさぎ年」です。うさぎの耳は福を集めるといわれています。卯年が皆様にとりましてご多幸な年となりますようお祈り申し上げます。

自由民主党滋賀県議会議員団



進む！「延暦寺根本中堂等の大改修」

1642年(寛永19年)建立の延暦寺根本中堂は、1955年(昭和30年)の昭和の大改修(半解体修理)から約60年が経過し、雨漏りや外装の痛みが進んでいることから、2016年度から10年以上の年月をかけて、屋根の全面ふき替えや剥がれた漆の塗り替え、腐食した柱の補強などが行われています。自民党県議会議員団は世界文化遺産であり国宝である根本中堂を後世に引き継ぐために保存修理事業を推進し、もって地域の活性化に活用するよう積極的に取り組んでいます。



「マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進を求める意見書」を提出

マイナンバー制度は、国民にとって利便性の高いデジタル社会の実現に役立つものであり、マイナンバーカードは、安全・安心なデジタル社会の基盤として重要な役割を果たすものです。真のデジタル社会を実現するためには、全ての国民が誰一人取り残されることなくマイナンバーカードを取得しその利便性を享受することができるよう、取組を進めていく必要があります。

そのため、国に対して、マイナンバー制度への理解促進に向けた取組を強化すること、マイナンバーの利用範囲の拡大を図ること、各種免許証や障がい者手帳等との一体化等国民が利便性向上を実感できる取組について確実に実現すること、加えてマイナンバーの利用による預貯金口座の管理に関する制度の円滑な実施を図ることを求める意見書を提出することを我が会派が提案し、賛成多数で可決されました。

◆賛否の状況

●：賛成 ×：反対

会派名	自由民主党 滋賀県議会 議員団	さざなみ 倶楽部	公明党	無所属	チームしが 県議団	日本共産党 滋賀県議会 議員団
意見書第18号 マイナンバーカードの普及 とマイナンバーの利活用の 促進を求める意見書	●	●	●	●	●×	×

チームしが県議団は賛否が分かれました。

11月定例会議 代表質問

質問者
周防清二 議員



Q 自然災害のみならず武力攻撃事態における県民の命を守る知事の決意を問う

A 北朝鮮による度重なる弾道ミサイルの発射は、我が国、我が地域も深刻かつ重大な脅威であり断じて容認できない行為だ。これまでから国や市町など関係機関と大規模テロを想定した訓練を実施するほか万が一における身を守る行動をよびかけている。

今後は弾道ミサイルも想定した訓練も実施する。県民の生命・身体および財産を保護するために最善を尽くしてまいります。

※その他の内容は県ホームページをご覧ください。

- 防災・危機管理対策について 知事
- 広域行政について 知事
- CO₂ネットゼロ推進について 知事
- 県財政の収支改善における歳入確保について 知事
- 「いちご一会とちぎ国体」から次につなげる試みについて 知事
- 琵琶湖の保全再生について 知事
- 県立病院の経営強化について 知事
- 共生社会に向けた取組の推進について 知事
- 企業立地促進と中小企業支援について 知事
- 世界農業遺産「琵琶湖システム」を活かした魅力発信について 知事
- 防災・減災、国土強靱化の取組の着実な推進について 知事
- いじめや暴力行為等の問題について 知事、教育長

政府予算をふまえた11月議会で可決した補正予算

主な事業と予算	総額 26,644,450千円
● 出産・子育て応援交付金事業 1,297,786千円 (妊娠・出生届け出時に各5万円支援等)	
● 産地競争力の強化対策事業 344,000千円 (農業者の農業機械・施設導入支援)	
● 粗飼料価格高騰対策緊急支援事業 62,870千円 (県独自の乳用牛・肉用牛生産畜産農家への支援)	
● 県立学校トイレ整備事業 483,790千円 (県立学校のトイレ整備)	
● 「今こそ滋賀」観光推進事業 2,377,395千円 (県内旅行促進のための支援)	
● 電子割引券発行による中小・小規模事業者応援事業... 1,545,356千円 (しが割引キャンペーン第2弾)	
● 土地改良関係公共事業 2,416,273千円	
● 道路・河川等土木公共事業 15,169,050千円	